

大 崎 指 選 第 1 号
令和 4 年 1 月 1 9 日

大崎市長 伊藤 康志 様

大崎市指定管理者選定委員会

委員長 遠藤 猛雄



令和 3 年度大崎市指定管理者選定委員会における選定結果について（報告）

大崎市指定管理者選定委員会において、大崎市鹿島台志田谷地防災センターの指定管理者選定にあたり、申請団体から提出された申請書を審査し、下記のとおり選定したので報告します。

記

1 指定管理者候補者

所在地 大崎市鹿島台大迫字上志田 7 4 5 - 7
名 称 志田谷地行政区会
代表者 武藤 勝実

2 選定委員会の実施日時

令和 4 年 1 月 1 2 日（水）午後 1 時 3 0 分から午後 4 時まで

3 選定委員会の委員

委員長 遠藤 猛雄
委 員 佐藤 政重（職務代理）、高橋 興業、小川 光晴、
渡邊 昌一、金成 洋子、岡 明子、三浦 たつ子

4 審査方法

当施設の審査は公募によらない候補者の選定とし、申請団体を候補者とするについて、市の選定基準に従い指定申請書の審査及び団体へのヒアリング等により各委員が点数評価を行い、その評価結果を参考に委員の合議により候補者を選定した。

5 審査得点（委員 8 名）

団 体 名	総 合 点	平 均 点
志田谷地行政区会	638/800	79.75



6 選定理由

集会所として利用する地域の団体が包括的に管理運営にあたることにより、地域に根差した運営ができ、また地区住民が主体的に管理運営することで、効率的かつ効果的な管理運営が見込まれるため、候補者として選定したものである。

7 審査の総評

防災センターの設置目的や建設の経緯を踏まえ、地元住民の団体である志田谷地行政区会が集会所として利用しながら運営することで、平時および災害時の活動が、円滑かつ迅速にできること、また包括的に管理することで経費の節減が期待できることが見込まれる。さらに子ども達などへの防災学習を実施する際は、過去の水害経験や先人から受け継いできたことを活きた教材として活用できるため、より学習効果が高まり、市内外にも広く発信していくことが期待されることから、委員全員から高評価を得た。市は地域の主体的で効率的な運営を積極的に支援しつつ、指定管理者及び国土交通省と十分に意見交換などを行いながら、施設のあり方を検討していく必要がある。